

令和7年度

学 生 表 彰 式



日 時：令和8年2月6日（金）
表彰式会場：210教室

山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

令和7年度 学生表彰式

令和8年2月6日(金) 10時30分
於 2号館 210教室

1. 開式 (10時30分)

1. 学長挨拶 (10時30分)

【最優秀賞】

団体 ベトラボ (池田研究室)

個人 薬学科 3年 西岡 玲南

【優秀賞】

個人 電気工学科 3年 青木 隼人

電気工学科 3年 中牟田 寛大

1. 学生部長挨拶 (10時45分)

【功労賞】

団体 第30回竜王祭実行委員会

学友会本部

【特別奨励賞】

団体 自動車部 (学生フォーミュラチーム)

個人 機械工学科 4年 杉本 未宙

【奨励賞】

団体 フィルハーモニー交響楽団

山理科LABO

ゲーマーズボランティア

手話サークル

1. 事務局長挨拶 (11時00分)

【感謝状】

個人 数理情報科学科 2年 中敷 樹

数理情報科学科 2年 遠田 汐音

数理情報科学科 2年 三原 希彩

薬学科 3年 荻野 綾子

1. 受賞者プレゼンテーション (11時05分)

個人 薬学科 3年 西岡 玲南

1. 受賞者挨拶 (11時15分)

個人 薬学科 3年 西岡 玲南

1. 記念撮影 (11時20分)

※敬称略

最優秀賞

○ベトラボ（池田研究室）

第12回トマトロボット競技会シニア部門において、技術プレゼンを行うとともに製作したロボットによるトマト収穫の競技に参加。トマトを収穫し、トマトのヘタを付けたまま、果皮には傷を付けない状態で収穫すると高得点となるように点数化された競技会である。全14台中で2番目となる点数を獲得し、総合準優勝となった。

○薬学科 3年 西岡 玲南

スポーツ庁主催「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2025」のアイデア部門に応募。書面による一次審査およびプレゼンテーションによる二次審査を経て、応募総数49点の中から優秀賞に選出された。

優秀賞

○電気工学科 3年 青木 隼人

第三種電気主任技術者試験は理論、機械、電力、法規の4科目全てに合格が必要で、合格率は10～20%程度、約1,000時間ほどの学習時間を要するといわれるような難易度の高い国家資格である。本学在学中、3年次での合格はおそらく初であり、電験サークルに所属し、独学で習得及び試験に挑戦し合格という優秀な成績を収めた。

○電気工学科 3年 中牟田 寛大 同上

功労賞

○第30回竜王祭実行委員会

「山理科万博」をスローガンに記念すべき第30回竜王祭を2日間開催。また、西日本自動車学校のイベント出展やおのだサンパークにおけるビラ配り、レノファ山口のホーム戦でのイベント盛り上げ等を行うことで本学の魅力や竜王祭の特色を広く発信し、来場者の増加及び地域との交流促進に寄与した。

○学友会本部

夏祭りやクリスマス会を企画・運用し、多くの学生が気軽に参加できる機会を創出し、学生生活の充実および学生間の交流促進に大きく貢献した。

特別奨励賞

○自動車部（SOCU学生フォーミュラチーム）

第23回全日本学生フォーミュラ大会で13位／58校中となった。動的審査での走行には5項目の試験等の通過が絶対条件であり、全体で2番手、ICVクラスでは1番手で全項目を通過した。また、西日本自動車学校及び図書館フェスティバル等に参加し社会活動も行った。

○機械工学科 4年 杉本 未宙

2023年度より継続してボランティア活動を行っており、多くの地域貢献活動に取り組んだ。また、山陽小野田市100人カイギにおいて発表や住まいるプランナーコミュニティミートアップ等へ出席し、地域の人たちと交流し、本学の学生による地域貢献活動を知らしめた。

奨励賞

○山理科LABO

第12回図書館フェスティバル等で「スライム&人工イクラづくり体験」や山陽小野田市立厚狭図書館において「スライム&人工イクラづくり教室！」として科学教室を実施し、社会活動を行った。

○フィルハーモニー交響楽団

第12回図書館フェスティバルや市民病院等で演奏会を行い、フェスティバル等をおおいに賑わせ、社会活動を行った。

○ゲーマーズボランティア

昨年度から依頼があった市内5つの地域交流センターに加え、市民活動センターやYAPレンズから新たな依頼がありeスポーツ体験会を実施し、社会活動を行った。

○手話サークル

2023年度から実施している赤崎小学校・松原中学校松原分校でのボランティア活動に加え、今年度は手話に関する国際的な活動の市内での実施の支援するボランティアや子ども達の夏休みの自由研究の支援等、地域貢献活動を拡大させ、社会活動を行った。

感謝状

○数理情報科学科 2年 中敷 樹

地域活性化策の検討活動で、Aスクエア周辺のフィールドワークを行い、空き家を活用して子育て支援を行う施設を設けて、子育てしやすい環境を作り、子育て世代の移住を呼び込むことで、商業施設を増やし、地域を活性化させるという提案を行った。

○数理情報科学科 2年 遠田 汐音

東京都にて開催された山口県主催「やまぐち企業誘致セミナー・長州デジタル人材」に参加し、「地方発、デジタルで未来を拓くー私たちの学びと成長ー」をテーマに、数学を核とする数理情報科学科の特色や、本学が取り組むデジタル人材育成の活動について積極的に発信した。

○数理情報科学科 2年 三原 希彩 同上

○薬学科 3年 荻野 綾子

2023年度以降、Aスクエアを活かした地域活性化活動の検討及び実現に協力しており、今年度は赤崎地域交流センターでの小学生の読書感想文の作成を支援するボランティアなどの地域貢献を行った。